

本文

※例文は学習用です。

- ① 嗚呼、哀哉。／ああ、哀しいかな。
- ② 噫、天喪_レ予。／ああ、天予を喪ぼせり。
- ③ 嗟乎、惜哉。／ああ、惜しいかな。
- ④ 学而時習_レ之、不_レ亦説_レ乎。／学びて時に之を習ふ、亦説ばしからずや。
- ⑤ 有_レ朋自_レ遠方_レ来_レ上、不_レ亦樂_レ乎。／朋遠方より来たる有り、亦樂しからずや。
- ⑥ 人不_レ知而不_レ慍、不_レ亦君子_レ乎。／人知らずして慍みず、亦君子ならずや。
- ⑦ 豈不_レ痛哉。／豈に痛ましからずや。
- ⑧ 豈不_レ誠大丈夫_レ哉。／豈に誠に大丈夫ならずや。
- ⑨ 逝者如_レ斯夫、不_レ舍_レ昼夜_レ。／逝く者は斯くのごときかな、昼夜を舍かず。
- ⑩ 賢哉、回也。／賢なるかな、回や。
- ⑪ 大哉、堯之為_レ君也。／大いなるかな、堯の君たるや。
- ⑫ 甚矣、吾衰也。／甚だしいかな、吾が衰へたるや。

設問

1. ①の「嗚呼」の読みをひらがなで書け。
2. ①の「哀哉」の「哉」の読みをひらがなで書け。
3. ①の「嗚呼、哀哉」を現代語訳せよ。
4. ②の「噫」の読みをひらがなで書け。
5. ③の「嗟乎」の読みをひらがなで書け。
6. ④の「不亦説乎」の書き下し文を書け。
7. ④「不亦説乎」を現代語訳せよ。
8. ⑤の「不亦樂乎」の書き下し文を書け。
9. ⑤「有朋自遠方来、不亦樂乎」を現代語訳せよ。
10. ⑥の「不亦君子乎」の書き下し文を書け。
11. ⑦の「豈不痛哉」の書き下し文を書け。
12. ⑦「豈不痛哉」を現代語訳せよ。
13. ⑧の「豈不誠大丈夫哉」の書き下し文を書け。
14. ⑧「豈不誠大丈夫哉」を現代語訳せよ。
15. ⑨の「逝者如斯夫」の文末「夫」の読みをひらがなで書け。
16. ⑩の「賢哉、回也」の「哉」の読みをひらがなで書け。

17. ⑩「賢哉、回也」を現代語訳せよ。
18. ⑪の「大哉」の読みをひらがなで書け。
19. ⑫の「甚矣、吾衰也」を現代語訳せよ。
20. 「不亦～乎」はどのような意味の句法か、次から選べ。
 - ア なんと～ではないか（詠嘆）
 - イ どうして～だろうか、いや～ない（反語）
 - ウ ～してはいけない（禁止）
21. 「豈不～哉」がここでは反語ではなく詠嘆（感嘆）と解釈される理由を、文脈の上から簡潔に説明せよ。
22. 文末に置かれて詠嘆をあらわす助字を、本文中から「哉」以外に二つ抜き出して書け。
23. 【記述】文頭の「嗚呼・噫・嗟乎」と、文末の「哉・夫・也」とでは、詠嘆の気持ちをあらわす位置がどのように異なるか、簡潔に述べよ。
24. 【記述】「不亦説乎」と「豈不痛哉」は、どちらも訳すと「なんと～ではないか」となる。この二つに共通する表現上のはたらきを説明せよ。